



2023年12月期通期 決算補足説明資料

日華化学株式会社

(東証スタンダード：4463)

2024年2月13日

1

サマリー

# サマリー

## ■ 総括

- 2023年12月期の売上高は前年並み、利益においては減益であった  
上期は非常に厳しい状況であったが、下期の回復が著しく、その中身は今後の業績成長に繋がるものとみている
- 化学品事業においては、下期は売上・利益共に半期ベースで過去最高水準となった
  - 中計の重要課題「事業構造の大転換」を推進。不採算製品の統廃合、価格改定、EHDシフトなどにより、利益率は上昇傾向にあり成果が出始めている
  - 戦略的グローバル調達にも下期から本格着手。今後更なる収益性の向上が期待できる
- 化粧品事業においては、上期に集中させた戦略新製品の大型プロモーションにより、外部環境が厳しい中でも増収となり、利益率も下期には前年並みに回復している
- 2024年12月期は、化学品事業において引き続き構造改革が進むと見込んでおり、全体で増収、増益を計画している

# サマリー

## 1 全社：売上高 ほぼ前年並み・減益

売上高：50,169百万円（△0.9%）、営業利益：2,039百万円（△22.4%）

経常利益：2,528百万円（△19.3%）、当期純利益：1,691百万円（△20.0%）

特別利益：1.4億円減

為替：期中平均 円/米ドル 140.54円 7.4%円安

国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%）2Q：67,500円（同△21.6%）

3Q：63,600円（同△21.9%）4Q：72,800円（同+0.4%）

## 2 化学品事業：減収・減益

売上高：35,605百万円（△1.8%）、セグメント利益：1,803百万円（△3.1%）

(要因)	【売上高】	(-) 欧米アパレル在庫調整、コロナ拡大による中国の低稼働、半導体市場不況の影響による需要減も、3Q以降一部で回復し、下期は半期ベースで過去最高売上
		(+) 新規ビジネス獲得
	【利益】	(-) 売上減による利益減、原材料高も、EHD効果で下期利益は半期ベースで過去最高水準

## 3 化粧品事業：増収・減益

売上高：13,977百万円（+5.4%）、セグメント利益：2,044百万円（△16.2%）

(要因)	【売上高】	(+) デミコスメティクス新商品拡販等で堅調、山田製薬堅調、デミコリア好調
		(-) 美容室来客数の減少
	【利益】	(-) 戦略的プロモーション投資等で販管費増

2

## 決算概要 (全社)

## 売上は前年並み（微減収）、利益は減益

単位：百万円	2022年 12月期	2023年 12月期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	50,627	50,169	△458	△0.9%
営業利益 (営業利益率)	2,628 (5.2%)	2,039 (4.1%)	△588	△22.4%
経常利益	3,132	2,528	△604	△19.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,114	1,691	△423	△20.0%
ROA	4.8%	3.6%		△1.1pt
ROE	8.0%	5.8%		△2.2pt
EBITDA	5,046	4,308	△737	
減価償却費	2,417	2,269	△148	
自己資本比率	49.8%	52.9%		+3.1pt
年間配当（円）	30	32	(予定)	

### ポイント

#### 【売上高：減少】

- (-) 化学品：欧米アパレル在庫調整、コロナ拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減も、3Q以降一部で回復し下期は半期ベースで過去最高売上
- (+) 化粧品：デミ新商品拡販で堅調、山田製薬堅調、デミ 코리아 好調

#### 【利益：減少】

- (-) 化学品：売上減等で利益減も下期利益は半期ベースで過去最高水準
- (-) 化粧品：戦略的プロモーション投資等で販管費増
- (-) 原材料高止まりも一部下落傾向あり、動力費・燃料費等単価上昇

為替：期中平均 円/米ドル 140.54円 7.4%円安  
 国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%） 2Q：67,500円（同△21.6%）  
 3Q：63,600円（同△21.9%） 4Q：72,800円（同+0.4%）

# 連結キャッシュフロー

**営業CF：** +40億円（収入） EBITDA 43億円、運転資本減22億円、法人税支払8億円  
**投資CF：** △8億円（支出） 固定資産取得による支出11億円  
**財務CF：** △17億円（支出） 借入金返済10億円、配当金支払5億円

単位：百万円	前連結会計年度 2022年1月1日～ 2022年12月31日	当連結会計年度 2023年1月1日～ 2023年12月31日	増減額
営業CF	2,317	4,086	1,768
投資CF	△885	△876	+8
財務CF	△1,962	△1,740	+222
期末現預金残高	7,052	8,344	+1,292
有利子負債	10,338	9,270	△1,068

3

決算概要  
(セグメント別)



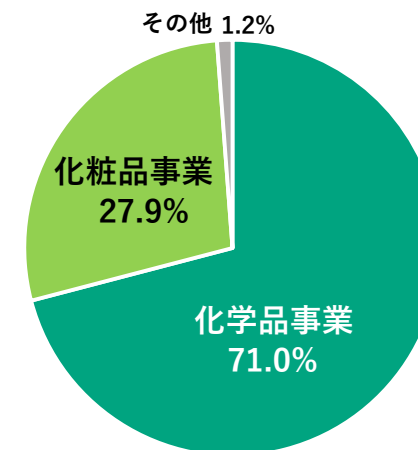
# セグメント別業績

**化学品事業：減収・減益**（主力の繊維化学品分野における、欧米アパレル在庫調整、コロナ拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減も、3Q以降一部で回復し下期は半期ベースで過去最高売上）

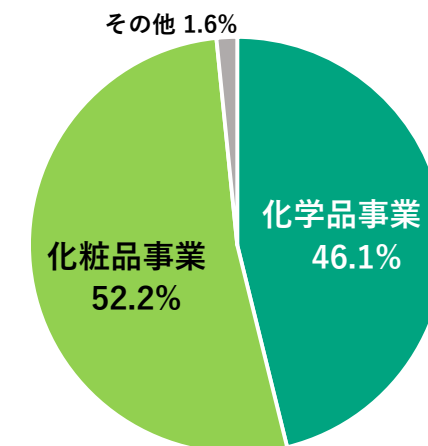
**化粧品事業：増収・減益**（山田製薬堅調、デミコリア好調の反面、戦略的プロモーション投資等で販管費増）

売上高：化学品事業が約7割  
利益：化粧品事業が5割強

売上高



セグメント利益



単位：百万円		2022年 12月期		2023年 12月期		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	化学品事業	36,268	71.6%	35,605	71.0%	△662	△1.8%
	化粧品事業	13,265	26.2%	13,977	27.9%	711	5.4%
	その他	1,093	2.2%	586	1.2%	△507	△46.4%
	合計	50,627	100%	50,169	100%	△458	△0.9%
セグメント利益	化学品事業	1,861	42.0%	1,803	46.1%	△58	△3.1%
	化粧品事業	2,438	55.0%	2,044	52.2%	△393	△16.2%
	その他	129	2.9%	64	1.6%	△65	△50.7%
	合計（消去前）	4,429	100%	3,911	100%	△518	△11.7%
	消去等	△1,800		△1,871		△70	3.9%
	合計	2,628		2,039		△588	△22.4%

# セグメント別（化学品事業）

減収・減益

下期は売上・利益共に半期ベースで過去最高水準

単位：百万円

化学品事業	2022年 12月期	2023年 12月期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	36,268	35,605	△662	△1.8%
セグメント利益 (利益率)	1,861 (5.1%)	1,803 (5.1%)	△58	△3.1%

為替：期中平均 円/米ドル 140.54円 7.4%円安  
 国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%）  
 2Q：67,500円（同△21.6%）  
 3Q：63,600円（同△21.9%）  
 4Q：72,800円（同+0.4%）

要因

【売上高】

- ◆繊維化学品分野
  - (+) インド・バングラビジネスの成長
  - (-) 欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷（想定以上）も3Q以降一部で回復傾向
  - (-) 1Qのコロナ拡大による中国低稼働（想定外）も回復基調

◆クリーニング薬剤分野（国内）

- (+) インバウンド回復によるリネンサプライ用薬剤販売増

◆半導体加工薬剤分野

- (-) 半導体市場不況の影響も回復傾向

【利益】

- (-) 利益減も下期利益額は半期ベースで過去最高水準

【分野別】

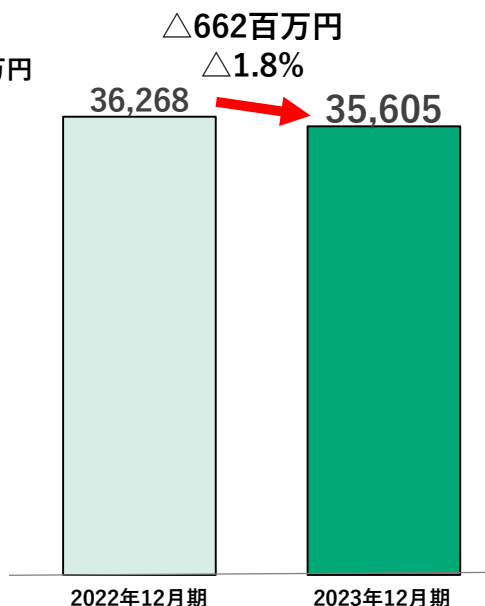
◆EHD<sup>1</sup>関連

- < + 販売堅調 > 水系ウレタン、抗菌・消臭剤、特殊オイル、リネン
- < + 新規販売 > 自動車向け合皮用トップコート剤グローバル展開

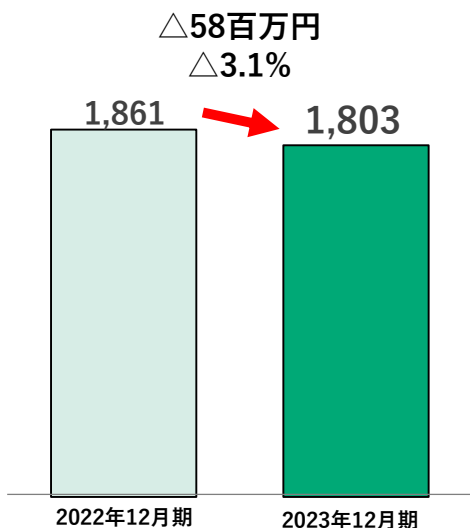
<sup>1</sup>EHD：Environment、Health、Digital

売上高

単位：百万円



セグメント利益



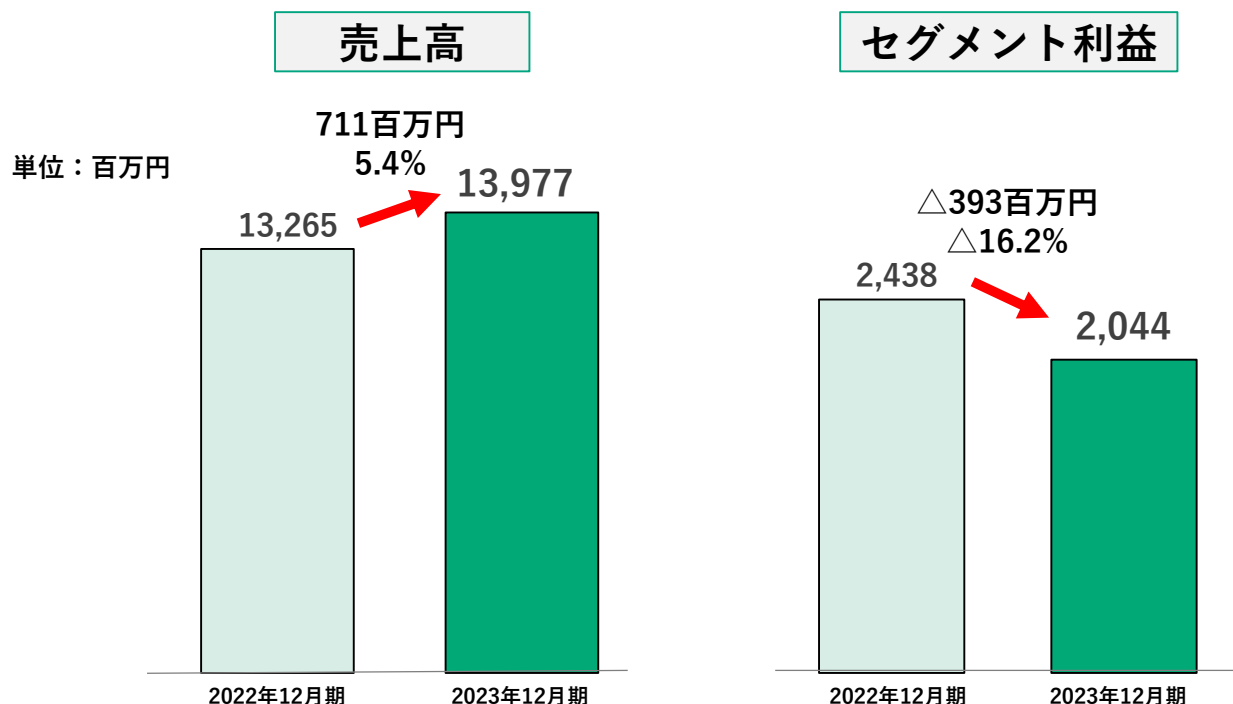
# セグメント別（化粧品事業）

**増収・減益 下期の利益率は前年下期並みに回復**

単位：百万円

化粧品事業	2022年 12月期	2023年 12月期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	13,265	13,977	711	5.4%
セグメント利益 (利益率)	2,438 (18.4%)	2,044 (14.6%)	△393	△16.2%

為替：期中平均 円/米ドル 140.54円 7.4%円安  
 国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%）  
 2Q：67,500円（同△21.6%）  
 3Q：63,600円（同△21.9%）  
 4Q：72,800円（同+0.4%）



### 要因

#### 【売上高】

- (+) 日華化学デミコスメティクス 新商品拡販等で堅調
- (+) 山田製薬堅調、デミコリア好調
- (-) 美容室来客数の減少（想定以上）による影響受け

#### 【利益】

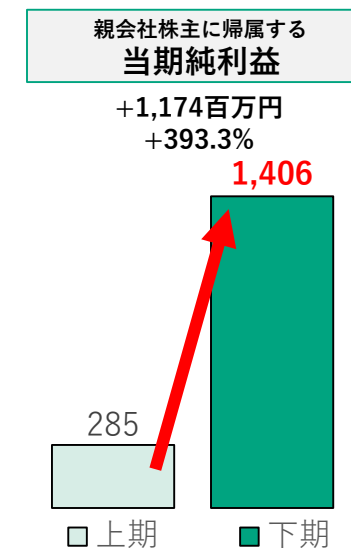
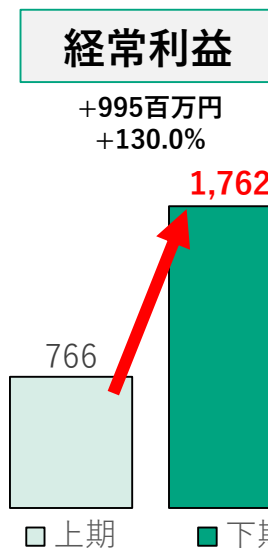
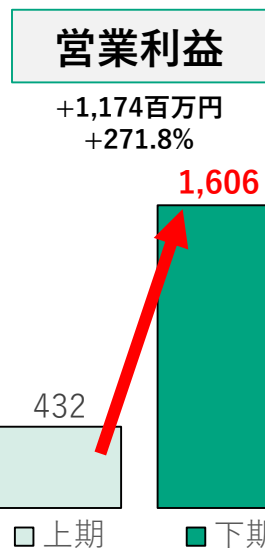
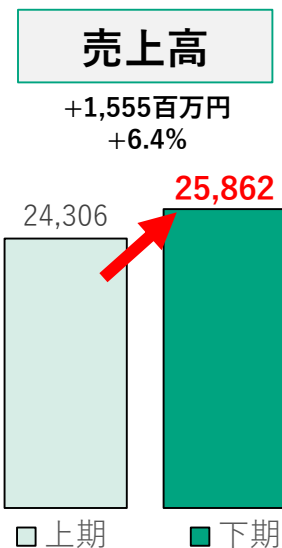
- (-) 上期の積極的なプロモーション活動実施による広告宣伝費等増で減益も、通期増収、下期利益率は前年並みに回復

- ◆デミコスメティクス新商品  
ヘアケア「DEMI DO(デミドゥ)」、ヘアカラー「トイロクシオン」
- ◆山田製薬  
ヘアケア受託事業好調
- ◆デミコリア  
・美容室来店客数は引き続き低迷している中、新規開拓奏功でカラー好調

# 決算概要（全社） 半期推移・比較（2023年12月期）

## 下期の利益面での回復が顕著

単位：百万円	2023年12月期		増減額	増減率
	上期	下期		
売上高	24,306	25,862	1,555	6.4%
営業利益 (利益率)	432 (1.8%)	1,606 (6.2%)	1,174	3.7倍
経常利益 (利益率)	766 (3.2%)	1,762 (6.8%)	995	2.3倍
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	285 (1.2%)	1,406 (5.4%)	1,174	4.9倍



# 決算概要（セグメント別）半期推移・比較（2023年12月期）

## 化学品の利益面での回復が特に顕著

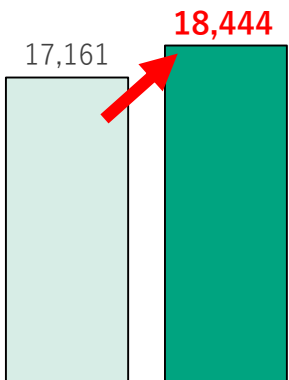
### ■化学品主要因

不採算製品の統廃合、価格改定、EHDシフトの推進、コストダウン

化学品	2023年12月期		
	上期	下期	通期
売上高	17,161	18,444	35,605
セグメント利益 (利益率)	444 (2.6%)	1,358 (7.4%)	1,803 (5.1%)

#### 売上高

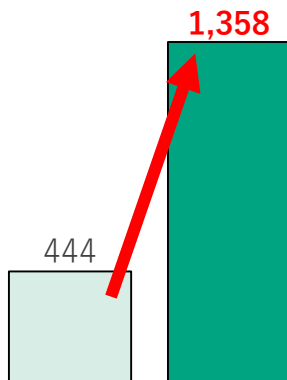
+1,283百万円  
+7.5%



□ 上期    ■ 下期

#### 営業利益

+913百万円  
+205.9%



□ 上期    ■ 下期

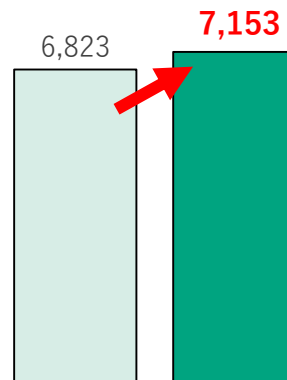
### ■化粧品主要因

新商品効果、販管費上期比減少

化粧品	2023年12月期		
	上期	下期	通期
売上高	6,823	7,153	13,977
セグメント利益 (利益率)	850 (12.5%)	1,193 (16.7%)	2,044 (14.6%)

#### 売上高

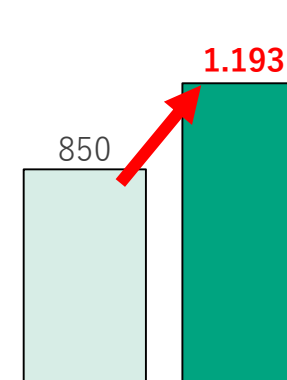
+329百万円  
+4.8%



□ 上期    ■ 下期

#### 営業利益

+342百万円  
+40.4%



□ 上期    ■ 下期

4

トピックス

## トピックス① (化学品事業)

# アートネイチャー社と共同開発 男性用ウィッグを新発売 (11月)

・当社「ネオクロマト加工」技術を応用し、人工毛髪の根本を脱色することで、よりリアルな仕上がりを実現

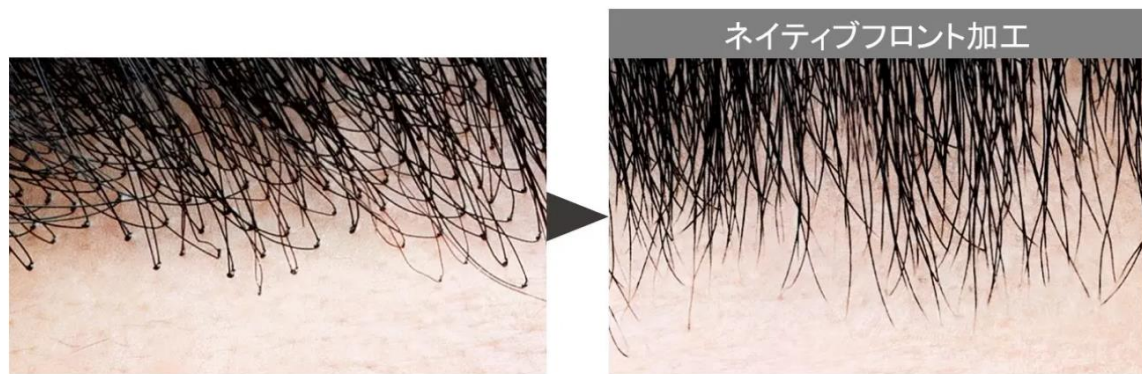
A/ アートネイチャー

### ■当社「ネオクロマト加工」



分散染料で染色したポリエステル生地に脱色が可能(染色・捺染・昇華転写等対応可能)

### ■男性用ウィッグ「レクアファントム」



生え際の毛髪の根元部分の色を地肌にとけこませる新技術※  
で、

ご自身の生え際を再現したような自然さに

※特願2023-1313-1

※日華化学「ネオクロマト加工」を人工毛髪に応用した技術

写真：アートネイチャー社公式サイトより引用



「レクアファントム」



## トピックス② (化学品事業)

# ニトリとの共同開発「Nシールド ファブリック」の展開

## 汚れ・ひっかきに強い「Nシールド ファブリック」シリーズ

- ・ニトリ×帝人×NICCA の3社コラボレーション  
ニトリとは2023年2月に共同開発の「抗菌防臭・抗ウイルス加工学習机」に次ぐコラボ第3弾
- ・毛玉が出にくい抗ピリング加工、糸の飛び出しを防ぐ抗スナッグ加工、汚れにくく落としやすい防汚加工により、ペットやお子様のいる家庭でも快適に使用いただける
- ・さらなる用途・素材への展開を目指していく

初回採用商品



カウチソファ  
「CA2 NシールドDR」



ソファ  
「CS01Nシリーズ布」



リビングダイニングセット  
「リラックスシリーズ」



ポケットコイル座イス  
「ロダシリーズ」



ゆったりソファ  
「MS01シリーズ」

⇒初回採用商品の売れ行き好調、他商品へ採用拡大



## トピックス③ (化学品事業)

# Bangladesh 駐在員事務所から現地法人化完了(10月)、倉庫兼工場建設へ

### ■ Bangladesh 経済特区 (Bangladesh Special Economic Zone) 概要

事業主体：Bangladesh SEZ Ltd.

出資比率:住友商事(株) 61%、JICA 15%、 Bangladesh 経済特区庁 (BEZA) 24%

所在地 : Bangladesh ダッカ管区 ナラヤンガンジ県 (ダッカ市内から車で約50分)



経済特区開発風景

### ■ 経済特区予約契約内容

内訳：土地購入・倉庫・生産設備投資

使用期間:50年

敷地面積:13,602㎡

### ■ 当社現地法人設立概要

会社名： Nicca Bangladesh Co., Ltd.

設立日： 2023年10月

事業内容： 繊維加工用界面活性剤の製造及び販売



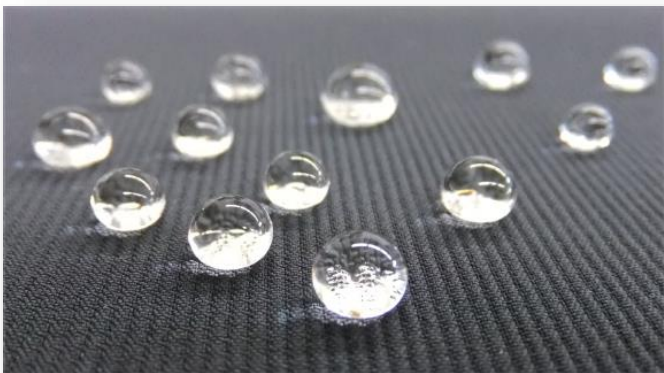
BSEZでのサインセレモニー

## トピックス④ (化学品事業)

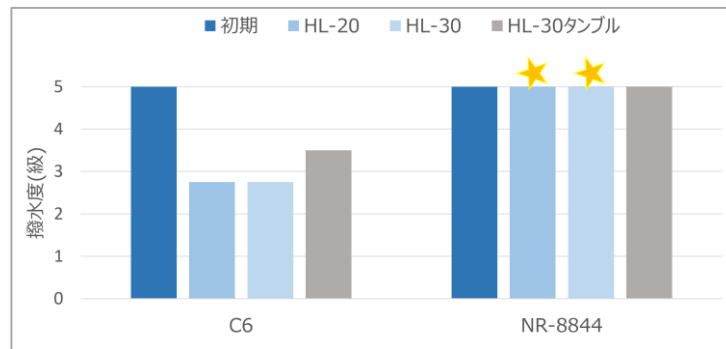
# 新規フッ素フリー撥水剤「NEOSEED NR-8844」発表 (6月)

### 自然乾燥でも撥水性が回復 = 常識を覆す新機能

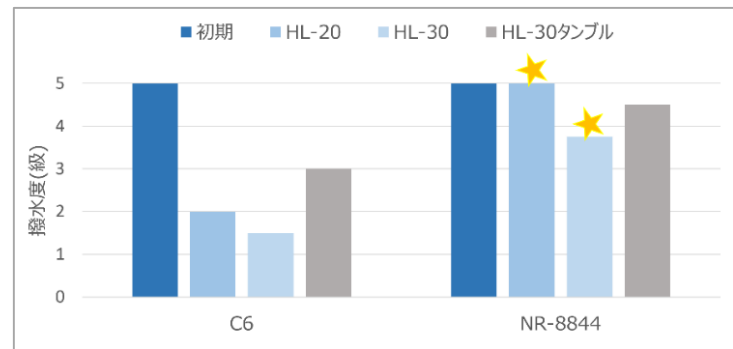
- ・フッ素系 (C6) 撥水剤を超える耐久撥水性を持つ”NEOSEED NR-8844”は、風雨にさらされた生地でも「自然乾燥」で撥水性が回復するフッ素フリー撥水剤
- ・例えば、アウトドアウェアは、あらゆる天候下にさらされ激しい動きにも耐える生地物性が求められるが、NR-8844は撥水性のみならず優れた耐スリップ性と柔らかな風合いが特長で、快適な着心地を提供
- ・ bluesign® 認証製品 (申請中) で環境負荷低減を実現



ポリエステル



ナイロン



生地：ポリエステル100%(織物) / ナイロン100%(織物) 処方：撥水剤 + 架橋剤  
 処理：Pad → Dry 130°C → Cure 170°C 洗濯：JIS L 1930:2014 C4M法 評価：JIS L 1092:2009

## ⇒ フッ素フリーで高い撥水機能を実現

## トピックス⑤ (化粧品事業)

# デミ コスメティクスより2つの新製品を販売

DEMI DO (デミドゥ) (4月)

# DEMI

### ・ブランドコンセプト「一生この髪とあそぼう」の実現

スカルプケアは地肌や毛髪に悩みのある人だけが使うものといったネガティブなイメージを一新  
カラフルなデザインと、手軽で簡単に毎日続けられるスカルプケアを幅広い年代の方に提案



一生、  
この髪とあそぼう。  
SMART SCALP CARE  
DEMI DO

### ・40年以上の専門研究の集大成！初めての「デミ」ブランド名

デミ コスメティクスの最新技術の自信、そしてスカルプケアの概念を変えたいという思いから、  
初の「デミ」を冠したブランド名

トイロクション (6月)

### ・基幹ヘアカラーをフルリニューアル！サロンでのブランドスイッチ完了

- ・ヘアカラーブランド「アソート アリア C」がブランド名も新たに進化、「トイロクション」  
としてフルリニューアル
- ・96色のラインナップでさらに表現の可能性を広げ、お客様の要望、髪質やダメージに寄り添い  
ながら、**十人十色の理想の色を叶える**
- ・SDGs取り組みの一環として、**プラスチック量を約55%削減した新形状の小型キャップ**を採用
- ・デミ コスメティクス初となる**タレントを起用したプロモーション**を実施



現行キャップ

新形状小型キャップ

## トピックス⑥ (化粧品事業)

# デミ コスメティクス新商品 新メンズブランド「CARAVAN」、「XFLEEK」発売

### CARAVAN (キャラバン) 2024年1月16日発売

- ・バーバースタイルに特化したメンズブランド
- ・武骨で男性的な色気を演出する、スタイリング中心に9アイテムの商品ラインナップ
- ・バーバー界のカリスマでもある「WOLFMAN BARBER SHOP」曾原 猛氏がブランドコンセプトを監修



### XFLEEK (エクスフリーク) 2024年3月発売予定

- ・Z世代男性をターゲットとし、パーマスタイルを楽しむためのブランド
- ・ヘアデザインアイテム、フェイスクアアイテムをラインナップ、全22アイテム予定





## トピックス⑦

# 東証スタンダード市場に移行（10月）

### ■スタンダード市場の選択理由

- ①株主様が安心して当社株を保有・売買できる環境を確保するため
- ②近い将来、企業価値を大きく向上させ、株主様への還元を高いレベルで安定的に実行できるようになるべく、先ずは高収益化に向けた土台を固める施策に経営資源を優先的に振り向けるため
  - ・化粧品事業拡大のための大型投資（新工場建設やマーケティング強化など）
  - ・化学品 EHD 事業領域への積極投資（新規事業育成、新技術探索、M&A など）
  - ・DX や人材への積極投資 など



5

## 中期経営計画

# 中期経営計画「INNOVATION25」(2023~2025)

<ビジョン>

『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』へ

## 中期経営計画「INNOVATION25」

新しい成長スパイラル”を固める3か年：「事業構造の転換」「収益性改善」「成長分野への積極投資」を推進  
(成長イメージ)

(2023~2025)

新しい  
成長スパイラルを確立

事業構造転換

- 社会課題解決型事業へ集中

収益性改善

- 技術・製品の高付加価値化
- 継続的コスト削減

成長分野への  
積極投資

- 必要投資を厳選、実行

中計期間 (計画)

(実績)

売上高  
506  
億円

ROS  
5.2%

2022年

(実績)

売上高  
501  
億円

ROS  
4.2%

2023年

売上高  
570  
億円

ROS  
7%

2025年

売上高  
700  
億円

ROS  
10%

2030年

さらなる  
持続的成長  
へ

## 経営目標数値の進捗

23年度の成果は中計初年度として不十分と認識も、下期の成果から現段階で  
中計最終年度の目標は変更しない

	【参考】2022年実績 <sup>※1,2,3</sup>			2023年実績 <sup>※1,2,3</sup>			2025年計画		
	全社	化学品	化粧品	全社	化学品	化粧品	全社	化学品	化粧品
① 売上高	506億円	373億円	132億円	501億円	361億円	139億円	570億円	400億円	170億円
CAGR <sup>※4</sup>	3.1%	2.4%	5.2%	△0.9% <sup>※5</sup>	△1.8% <sup>※5</sup>	5.4% <sup>※5</sup>	4.0%	2.3%	8.6%
② 営業利益	26億円	9億円	17億円	20億円	7億円	13億円	40億円	20億円	20億円
ROS	5.2%	2.4%	12.9%	4.1%	1.9%	9.3%	7.0%	5.0%	11.8%
③ ROE <sup>※6</sup>	6.4% (8.0%)	—	—	5.8% (5.8%)	—	—	8.0%	—	—
④ ROIC <sup>※7</sup>	4.6%	2.0%	15.3%	3.6%	1.6%	10.7%	7.0%	5.0%	12.0%
実績・想定条件 為替/ナフサ	132円/USD (2022年12月末) 72,500円/KL (2022年4Q平均)			141円/USD (2023年12月末) 72,800円/KL (2023年4Q平均)			132円/USD 72,500円/KL		

※1 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を2022年12月期から適用しております。

※2 「化学品セグメント」にその他セグメントを含めて表記しております。

※3 「消去及び全社セグメント」は化学品・化粧品の各セグメントに配賦して表記しております。

※4 CAGRは3年間の売上高平均成長率を示しております。

※5 2023年の実績は前年比です。

※6 ROEは特別損益など特別な要因を除いた当社試算値を表示しております。

※7 ROICは運転資金及び固定資産等の情報を元に当社試算値を表示しております。



# 重点施策の進捗状況①～化学品事業のEHDシフト

化学品のEHDシフトは順調に進んでいる  
利益率での効果が出始めていると評価

(進捗)

化学品事業のEHD比率の増加により、  
化学品全体の収益性をアップを図る

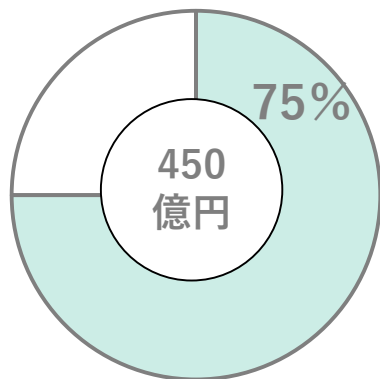
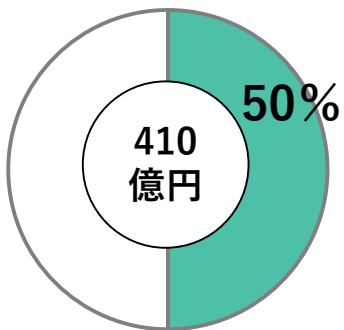
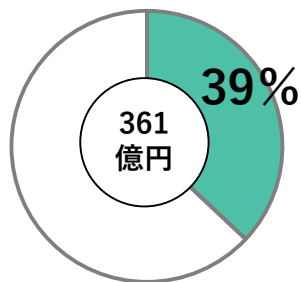
EHD効果により化学品事業の  
利益率が向上

## 化学品事業 EHD比率

2023年

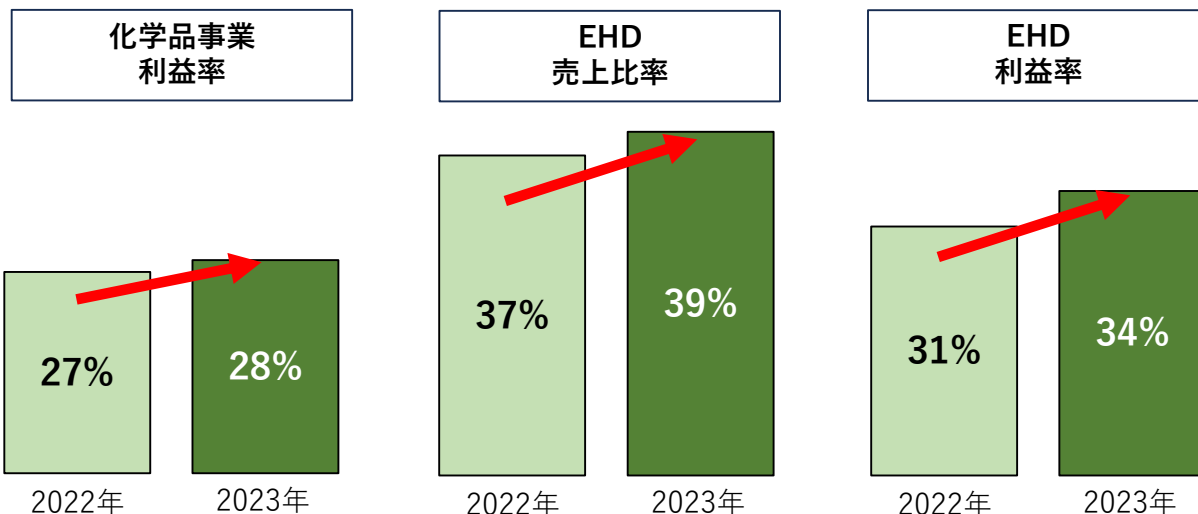
2025年計画

(2030年目標)



利益率比較 (化学品2025年計画)  
EHD製品：35%、従来製品25%

## EHD売上比率、利益率共に上昇



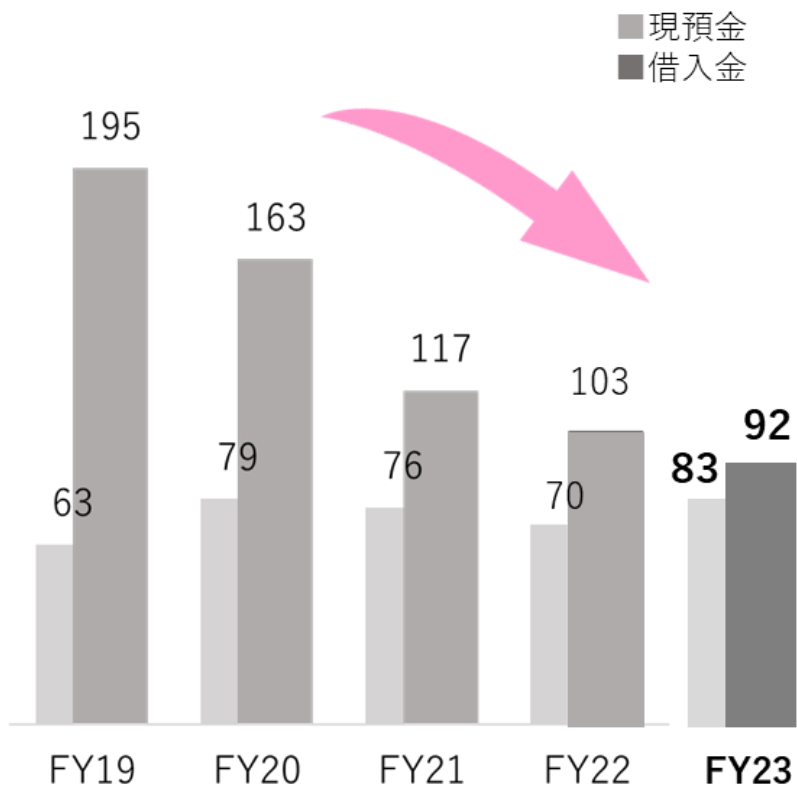
## 重点施策の進捗状況②～投資・財務

	中期経営計画（2023～2025）	2023年実績
投資／財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>メリハリのある投資</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>– 3年間トータル100億円投資</li> <li>– ROICを重要指標とし、成長分野×投資効率の高い案件に絞る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>23年投資実績13億円。既存設備の改修・更新が中心</u></li> <li>・ <u>化粧品、化学品成長領域への大型投資は今後各事業のROICを睨みつつ選別、実施予定</u></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>財務体質の改善</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>自己資本比率53%に向上</u> (22年実績 + 3 pt)</li> <li>・ 戦略的投資期間（2017～2019）の借入金は半減</li> </ul>
生産性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>DXによる業務効率化</b></li> <li>・ <b>2025年PH営業利益目標250</b> (2020年を100とした場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23年PH営業利益実績144</li> <li>・ 減収により不十分も、業務効率化のためのDX推進を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>– 新人事ポータルシステム導入</li> <li>– 業務への生成AI利用開始 など</li> </ul> </li> </ul>

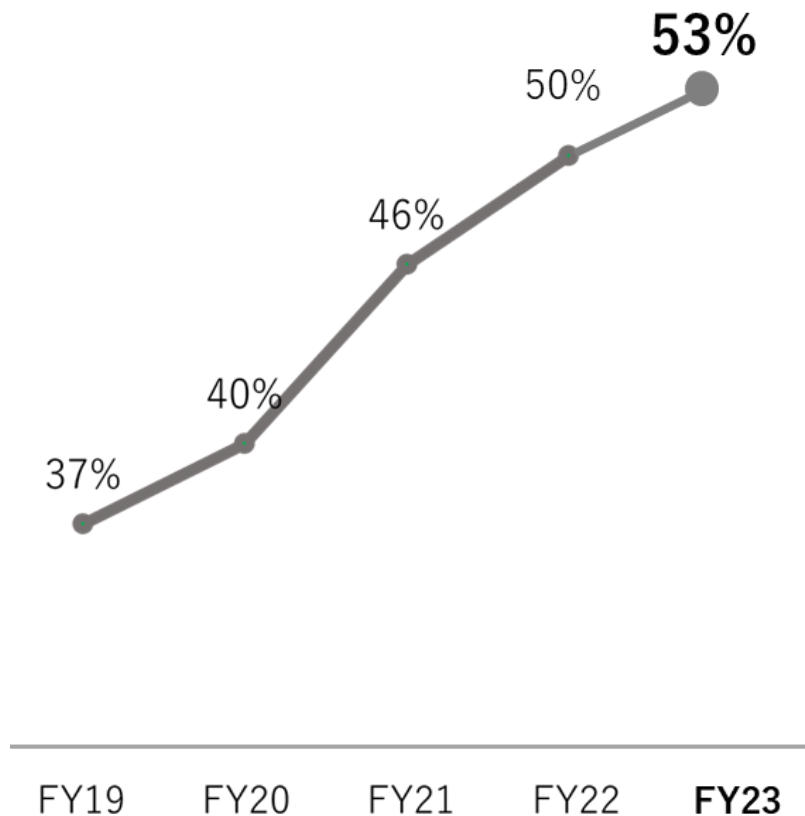
## 重点施策の進捗状況②～財務体質の改善

### 財務体質は飛躍的に改善

#### 現預金と借入金の推移 (億円)



#### 自己資本比率の推移



7

業績・配当予想他  
(2024年12月期)

# 業績予想（2024年12月期） 全社

(予想)

## 増収・増益、増配

単位：百万円	2023年12月期 実績	2024年12月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	50,169	53,500	+3,330	+6.6%
営業利益 (営業利益率)	2,039 (4.1%)	2,500 (4.7%)	+460	+22.6%
経常利益	2,528	2,700	+171	+6.8%
親会社に帰属する 当期純利益	1,691	1,800	+108	+6.4%
年間配当（円） (予定)	32	34	+2	—

為替／141円（円／米ドル、2023年12月期末値） ナフサ／72,800円 設備投資予定額(2024年12期)／2,400百万円

# 業績予想（2024年12月期）セグメント別

(予想)

## 化学品、化粧品ともに増収・増益

単位：百万円

セグメント		2023年12月期 実績	2024年12月期 予想	前期比 (増減額)	前期比 (増減率)
化学品事業	売上高	35,605	38,500	+2,894	+8.1%
	セグメント利益	1,803	2,250	+446	+24.8%
化粧品事業	売上高	13,977	14,500	+522	+3.7%
	セグメント利益	2,044	2,100	+55	+2.7%
その他	売上高	586	500	△86	△14.8%
	セグメント利益	64	50	△14	△21.9%
消去等	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	△1,871	△1,900	△28	—
合計	売上高	50,169	53,500	+3,330	+6.6%
	営業利益	2,039	2,500	+460	+22.6%

## 重点施策（2024年12月期）①

化学品：更なる収益性向上

化粧品：新製品・メンズブランド、デジタルプロモーション継続による国内シェア拡大

全社：人への投資強化

<p>化学品事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EHDシフトの推進</li> <li>・ 戦略的グローバル調達の推進</li> <li>・ 不採算製品の統廃合</li> <li>・ 原料・物流コスト増に対応した価格改定や採算是正</li> </ul>
<p>化粧品事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スカルプケア「DEMI DO」、ヘアカラー「トイロクション」 導入サロンでのシェアアップ</li> <li>・ メンズブランド強化</li> <li>・ デジタルプロモーションの継続</li> </ul>

## 重点施策（2024年12月期）②

### 1人当たり平均7.6%の賃金アップを実施予定

#### 国内賃金情勢に大きな変化

- 政府主導
- 人材不足→リクルート&リテインで重要な要素に
- 各業界、各社で賃上げラッシュ



- > 新卒初任給：約10%アップ（23年比）
- > 1人当たり平均給与：7.6%アップ
  - 対象：正社員、再雇用社員
  - 報酬テーブルとその運用を見直し
  - 若手世代中心に多い人で20%アップ

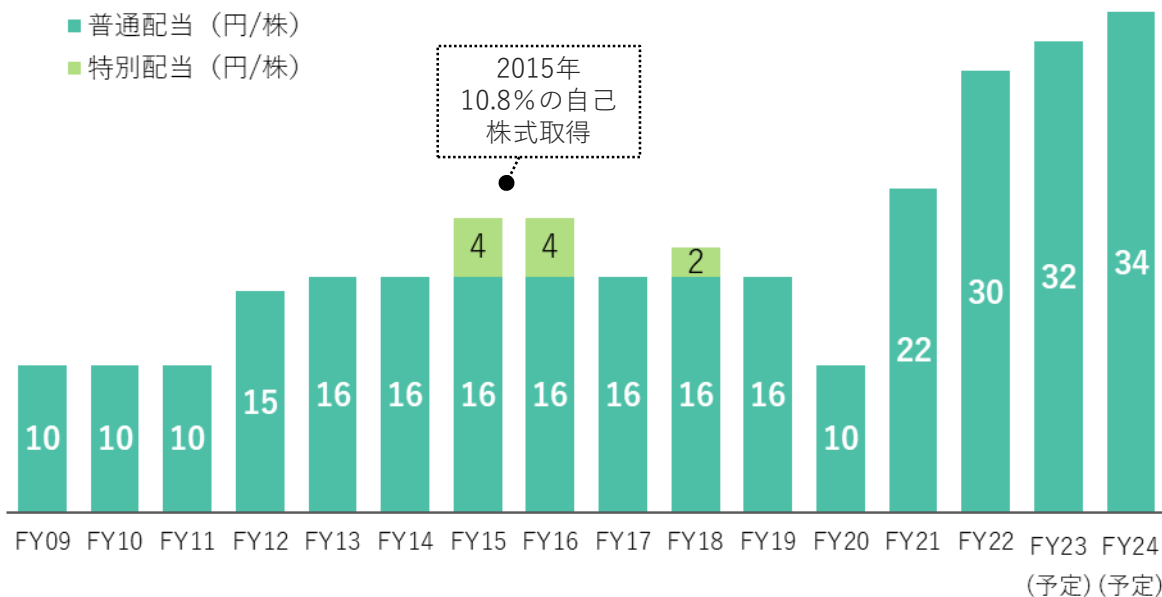




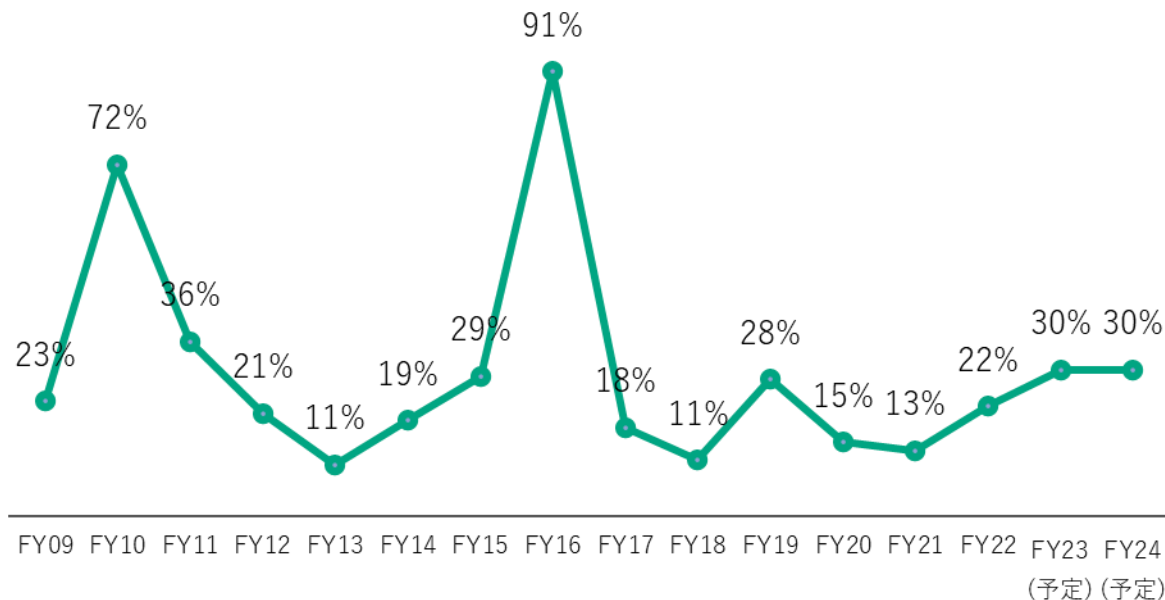
## 株主還元方針

- 当社は、株主の皆様に対し**安定的な配当**を継続して実施するとともに、各期の業績と将来の成長のために必要な投資や今後の事業展開等を総合的に勘案し、剰余金の配当を決定しております。また、**配当性向30%を目安**として拡充していく方針であります。
- 今後も、「株主の皆様への利益還元」「財務体質の強化」「収益力向上を目指した資本の有効かつ戦略的な活用」のバランスを取りながら、その一層の充実に努めてまいります。

### 一株あたり配当金の推移



### 連結配当性向の推移



# Appendix

# 財務データ等推移

項目	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
売上高	39,931	46,527	44,223	48,493	50,188	46,191	41,179	46,607	50,627	50,169
EBITDA のれん償却額反映	4,697	4,696	3,174	4,056	4,292	3,635	4,187	4,877	5,046	4,308
(EBITDA率)	11.6%	9.9%	7.2%	8.2%	8.5%	7.9%	10.2%	10.5%	10.0%	8.6%
減価償却費 のれん償却額含む	1,832	2,332	1,716	1,940	1,991	2,240	2,771	2,500	2,417	2,269
営業利益	2,865	2,364	1,458	2,116	2,301	1,395	1,416	2,377	2,628	2,039
(営業利益率)	7.2%	5.1%	3.3%	4.4%	4.6%	3.0%	3.4%	5.1%	5.2%	4.1%
経常利益	3,073	2,443	1,588	2,171	2,430	1,334	1,645	2,707	3,132	2,528
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,447	1,152	347	1,388	2,458	900	1,044	2,596	2,114	1,691
1株当たり当期純利益 (円)	82.22	70.13	22.09	88.48	156.68	57.33	66.40	164.82	134.08	107.09
配当金 (円)	16	20	20	16	18	16	10	22	30	32
自己資本比率	45.2%	36.4%	33.3%	34.4%	35.6%	36.7%	39.5%	45.9%	49.8%	52.9%
ROE	8.2%	6.2%	2.0%	7.8%	12.6%	4.5%	5.1%	11.3%	8.0%	5.8%
ROA	6.9%	5.2%	2.9%	4.0%	4.1%	2.5%	2.6%	4.4%	4.8%	3.6%
研究開発費	1,786	2,096	2,035	2,065	2,219	2,289	2,019	2,166	2,250	2,296
従業員数 (人)	1,228	1,373	1,418	1,472	1,479	1,496	1,500	1,454	1,472	1,500

※ 2023年12月期年間配当金のうち期末配当16円については2024年3月27日開催の定時株主総会で決議予定

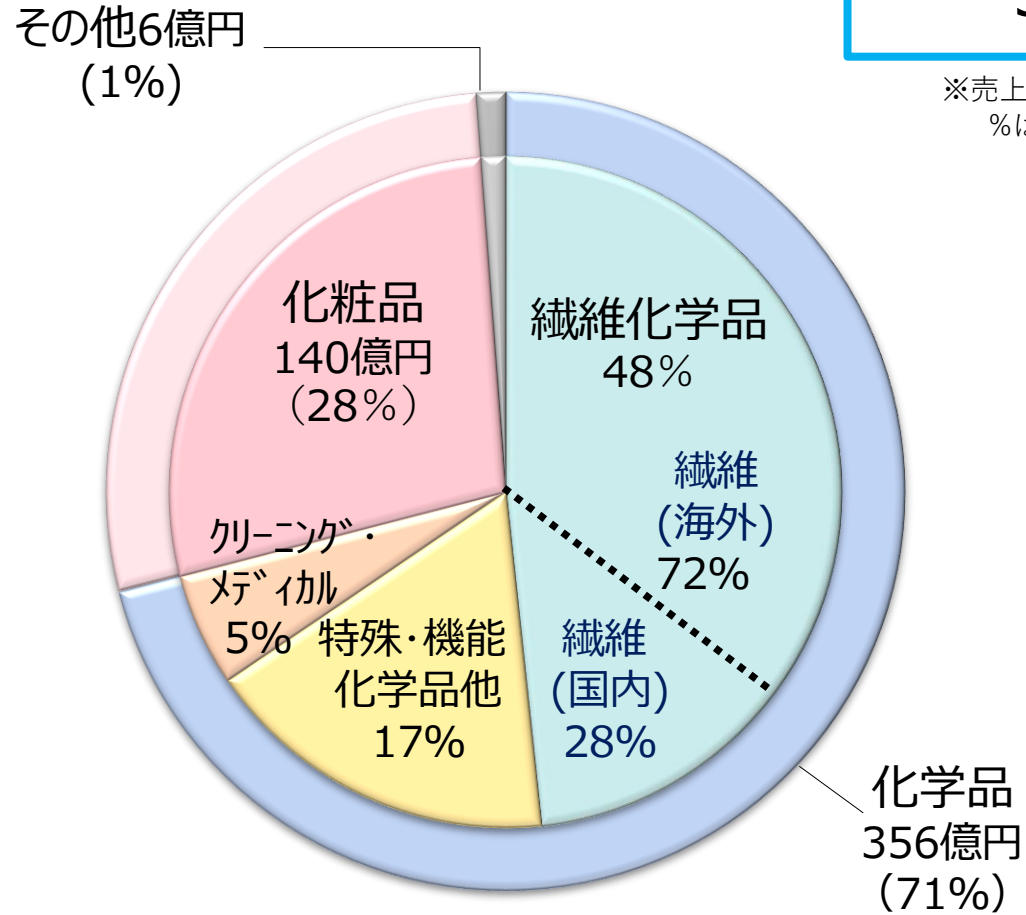
※  は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目

# 事業所・所在地別 売上高比率

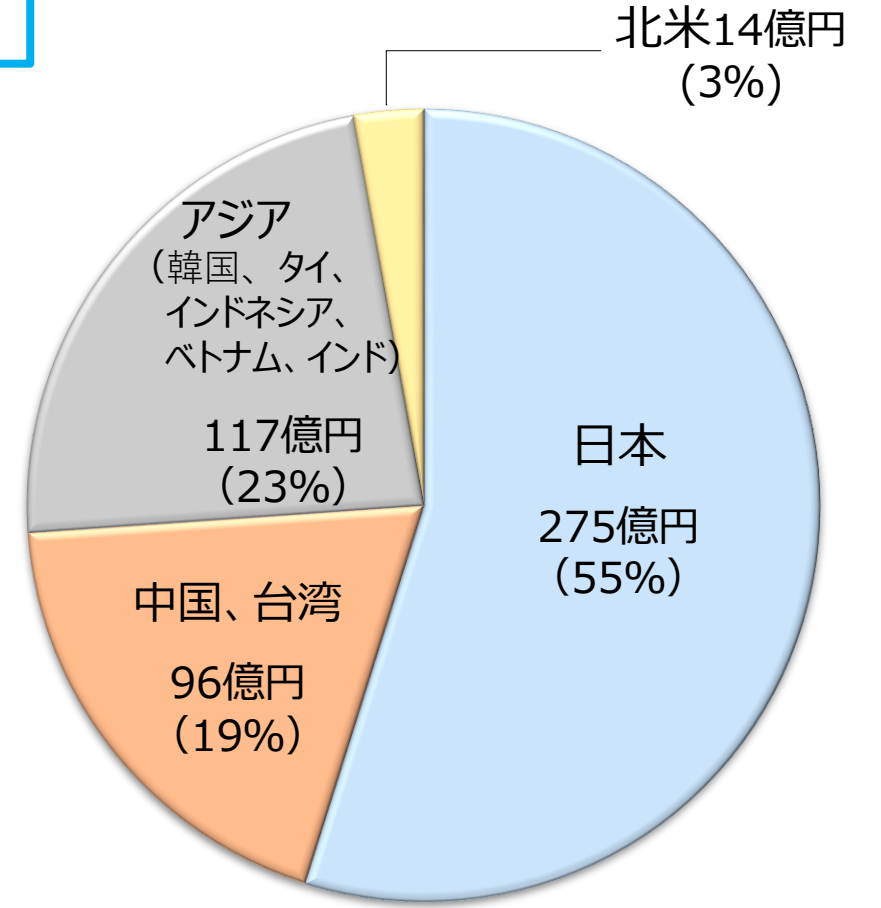
2023年度 売上高  
501億円

※売上高は億円未満四捨五入  
%は小数点以下四捨五入

【事業別売上高比率】



【所在地別売上高比率】




## 会社概要

商号	日華化学株式会社（証券コード 4463）
本社	福井県福井市文京4丁目23-1
創立	1941（昭和16）年9月15日
資本金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決算期	12月31日
従業員数	連結／1,500名 単体／607名（2023年12月31日現在）
事業内容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア

輝け、カガクで。

# Activate Your Life

## お問い合わせ先

 日華化学株式会社 IR担当

TEL:(0776)25-8584(直通)

Email : [matsushima@niccachemical.com](mailto:matsushima@niccachemical.com)

この資料には、2024年2月13日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。